

公的年金以外の備えは必要か？

老後に標準的な生活を送るには「公的年金以外に2000万円が必要」という説が世論をにぎわせた。公的年金に対する人々の関心は高い。減少が続く公的年金

年金支給額は物価や現役世代の賃金の動きに合わせて毎年変動する。サラリーマンだった人が受け取る厚生年金の平均月額額はほぼ一貫して減少しており、2021年度は14万5665円（老齢基礎年金を含む）と20年前より約3万円も少なくなっている〔図表1〕。長期にわたるデフレで、物価、賃金とも上がらなかったことが響いている。ちなみに夫婦2人合わせた平均月額額は、共働きが約28万円、専業主婦が約22万円である〔図表2〕。都道府県別の状況

厚生年金の平均月額を都道府県別にみると、大都市を抱える都府県が上位に並んでおり、兵庫県は全国7位の15万4247円である〔図表3〕。年金額は現役時代の賃金を反映した額であることから、これらの都府県の月給（きまって支給する賃金）も高水準である。

一方、物価は高い県と低い県が混在している。兵庫県の物価は、全国平均を100とした指数で99.7とほぼ全国平均レベルであり、年金額が全国平均より多いという点と合わせると、年金生活者の家計に比較的優しい県である。また、近隣の奈良県は年金額が多くて物価も安い状況にあり、兵庫県以上に家計に優しい県といえよう。

老後に備えた蓄えをどうするか？

夫婦2人の年金生活世帯（夫65歳以上、妻60歳以上）の標準的な家計をみると、預貯金等の取り崩しで2.3万円を補っても、収支は▲2.2万円となっており、実質の不足額は毎月4.5万円である（①+②）〔図表4〕。夫婦とも90歳代となる向こう30年間では計算上1620万円が必要になる。

しかし、本当にこの程度の蓄えで大丈夫なのだろうか。この試算方法の最大の問題点は、夫婦そろって健康であることを前提としており、入院費や高齢施設への入居費など、加齢に伴い必要性が増す費用を全く考慮していないことである。

ある調査（注1）によると、入院時の自己負担額（高額医療費制度を利用後、差額ベッド代、見舞いの交通費等を含む）は1日当たり2万3300円であり、3カ月の入院で200万円を超える。また、民間の有料老人ホームの月額利用料は15〜30万円とされ、月額25万円だと年間300万円もかかる。厚生労働省の推計（注2）では2040年度に介護職員が全国で64.9万人不足する。団塊の世代が90歳を超え、要介護者が増加するから将来、介護難民になるのを避けるには費用が高めの民間施設を選択肢に加える必要がある。やはり蓄えが多いほど安心なことは間違いない。

（注1）（公財）生命保険文化センター「令和元年度生活保障に関する調査」

（注2）「第8期介護保険事業に基づく介護職員の必要数について」

（主任研究員 浅野 学）

〔図表4〕 高齢世帯の1カ月の生活費（2021年）

項目	金額(円)
実収入(A)	237,988
社会保障給付(年金)	214,530
財産収入等(預貯金) ①	23,458
税金・社会保険料等(B)	31,789
可処分所得(C) = (A) - (B)	206,199
消費支出(D)	228,305
食料	66,118
住居	16,425
光熱・水道	19,563
家具・家事用品	10,568
被服・履物	5,147
保険医療	16,383
交通・通信	26,909
教養・娯楽	19,831
その他	47,361
うち交際費	20,765
差引収支(C) - (D) ②	▲22,106

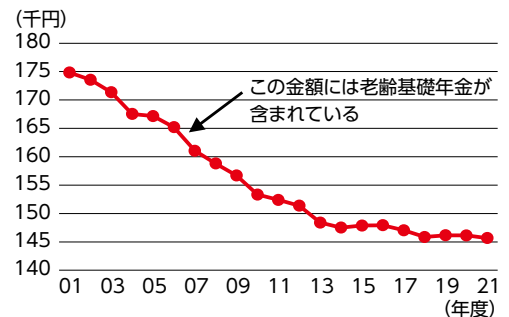
資料：総務省「家計調査」より作成
※夫婦2人（夫65歳以上、妻60歳以上）
無職世帯の1カ月の収入と支出

〔図表3〕 都道府県別の状況

	厚生年金受給者平均月額		きまって支給する賃金月額		消費者物価地域格差指数 全国平均=100	
	2021年度 (円)	順位	2021年度 (円)	順位	2021年度	順位
神奈川県	165,321	1	368,400	2	103.0	2
千葉県	160,017	2	329,600	9	100.6	6
東京都	158,661	3	391,800	1	104.5	1
奈良県	157,601	4	314,700	16	97.3	43
埼玉県	156,319	5	331,200	8	100.3	7
愛知県	154,984	6	354,600	3	98.0	35
兵庫県	154,247	7	336,300	6	99.7	15
大阪府	151,568	8	351,700	4	99.8	13
滋賀県	148,822	9	327,300	10	100.0	9
茨城県	147,004	10	325,800	11	97.8	37
全国	145,665	—	334,800	—	100.0	—

資料：厚生労働省「厚生年金保険・国民年金事業の概況」、
厚生労働省「賃金構造基本統計調査」、
総務省「小売物価統計調査」より作成

〔図表1〕 厚生年金 受給者平均月額（男女総数）



資料：厚生労働省「厚生年金保険・国民年金事業の概況」より作成

〔図表2〕 65歳以上夫婦の年金額（2021年度、千円）

現役時代の状況	夫	妻	合計
共働き	169	109	278
専業主婦	169	56	225
自営業	56	56	112

資料：厚生労働省「厚生年金保険・国民年金事業の概況」より作成